

2 企業経営に必須の管理会計

1 経営の意思決定に役立つ管理会計

(1) 管理会計の定義

管理会計は“経営に役立つ会計”と前述しましたが、具体的にその内容は、次のように定義されます。

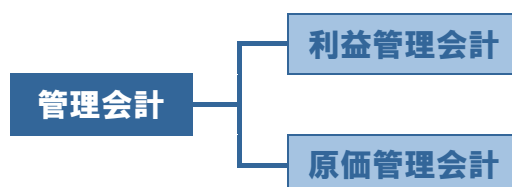
■ 管理会計の定義

管理会計とは、企業の経営管理者に対し、経営管理に不可欠な経営情報を提供するため、適切な数量的データを認識、測定、記録、分類、要約、解説する理論技術。

この定義で注意すべき点は、次のようになります。

情報の利用者	経営管理者（現場管理者を含む）
情報の提供目的	経営者が企業経営を管理する上で役立つ情報を提供する
情報の性質	経営管理者にとって、経営資源の有効配分や効率的利用に必要な経済的・数量的情報
情報の処理方法	数量的データの認識、測定、記録、分類、要約、解説というプロセスにより処理

管理会計を業績管理の技法としてみた場合、計画や予算を策定して目標利益を確保しようとする「利益管理会計」と、標準原価管理や原価改善を実施し、目標原価を達成しようとする「原価管理会計」に大別できます。



■ 経営管理過程

